

ふれまち八多

第 168 号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

毎年一度は健康チェック!

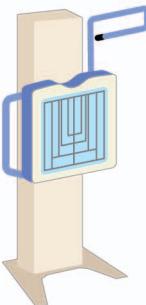


高齢化社会を迎える八多町では健康長寿のまちづくりを目指しています。予防医学協会や北神区役所保健福祉課、八多の里、八多淡河あんしんすこやかセンターなど多くの関係者のみなさんにお世話になりました。今後も継続できますようご協力よろしくお願いします。

今年も 8 月 26 日（水）朝 9 時 15 分からふれあいセンターで 6 度目の「八多ふれあい市民健診」が実施されました。今年は新型コロナの関係で各種イベントが中止されるなどの影響で PR には苦労がありましたが、受診者は 68 名（申込は 70 名）と例年並みでした。

農村地域の健診率向上を目的に最初は結核健診から始まつたこの取り組みも各種がん健診など内容も充実し、町民のみなさんに定着したようで、毎年 70 名前後の受診者があります。現在は早期発見・早期治療によって多くの病気から命を守ることが可能になりました。ぜひ年に一度は健診を受けて健康チェックをしてください。

八多ふれあい市民健診



住民自治組織代表者と区長との懇談会

八多町自治協議会からの要望3点

令和2年度の標記の会が11月10日(火)に予定されています。八多町自治協議会からは懸案となっている次の3点を要望します。なお、回答は後日お知らせします。

① 屏風辻・瀧・宮坂線道路拡幅について

屏風辻・瀧・宮坂線は、八多町と大沢町を効率よく結ぶ路線で、1分間に1台が利用する利便性の高い道路です。

八多町西畑の山陽自動車道北側から大沢町大沢「北六甲カントリー俱楽部」に至る区間については、道幅が狭く、見通しも悪いにも関わらずスピードを落とさず走行する車が多くて大変危険です。

暫定処置として、待避所を二箇所増設していただきましたが、現場は馬の背になっている上に竹やぶもあり、まだまだ通行に支障をきたす状況であります。

以前より、道路拡幅と整備について要望してまいりましたが、新たな状況も生じてきております。以下2点について要望いたします。

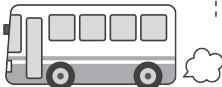
① 通行止めの解除について

昨年6月から地権者が通行を止めるという異常状態が1年以上継続しており、通勤などで利用していた多くの市民が大幅な迂回を余儀なくされております。早急に解決し、通行可能となるよう要望します。

② 拡幅・整備について

長年の懸案ですが、八多、大沢両町の地元自治会、八多出張所、大沢出張所、北建設事務所と協議を進め、連携のもと地権者の了解を得て、早期の道路拡幅・整備を実現していただきますようお願いいたします。

② 八多・淡河バスの支援について



(1) 現状

北区役所と都市局公共交通課の協力により、平成27年10月より八多町実験バスを実施して検証を行なながら、平成29年10月より念願の八多町バスの本格運行を実施し、丸3年を迎えております。

月間利用者数1,200人を目指し、毎月イベントの実施や交通ニュースの発行、昨年7月から「はたっこバスサポーターズクラブ」の創設等乗客数増に向けてPRに努めているところですが、目標数に達していない状況です。

八多町民だけではなく周辺住民の利用促進として10月から淡河町への延伸、早朝や夕方の便の新設、土日の運行など試験運行という形で淡河町とともに「八多淡河バス」という名のもとにトライアルさせていただきます。

(2) 要望

新型コロナ禍に伴う外出自粛やバスの乗り控えなど交通機関にとって極めて厳しい状況の中での試験運行のスタートとなります。

したがって、「八多淡河バス」の乗車促進へのより一層のご指導・ご協力にあわせて、できるだけ地元負担が発生しないよう、財政面でのご支援をぜひお願いしたいと存じます。

③ 八多小学校中学校の小規模対策について

(1) 現状

八多町では毎年20名程度の出生数がありますが、八多小学校に就学しているのは、半数以下の10名を切っています。原因としては、神戸市では住所ごとに就学すべき小中学校（指定学校）が決められていますが、通学の利便性による理由で指定外通学が認められているためです。

平成18年に教育長通達で小学校では片道2km中学校で3km以上は通学の利便性による理由で、指定外通学が可能になりました。しかしながら、当時から八多町の地域コミュニティの崩壊と学校存続の危機として、制度の見直しの要望書を提出してきました。

現時点において、見直しがなく十数年経過し、少子化と児童の流出により児童・生徒数が激減し、八多町では学校存続が危惧される状況です。

(2) 要望

本来指定校に行くべき中地区では、不動産業者の住宅斡旋パンフレットで指定外通学可能と明記されることなどにより、当たり前のように半数以上の児童が鹿の子台小学校へ通学しています。

八多小学校は規模も小さく、教育内容によほどの特長が無ければ、通学利便性に対抗するのは困難です。

そこで、八多小学校および中学校の同一校舎・敷地という環境を利用した9年間一貫教育を導入するなど、制度・人事・予算面で工夫をいただき、他校では実現できない素晴らしい特長を持たせ、選ばれる学校にしていただこうよう要望します。

八多町も地域を挙げてできる限りの支援をいたします。

敬老優待乗車制度の変更について

神戸市の敬老優待乗車制度は以下の通り変更されます。

○令和2年10月1日よりバス近郊区の110円の上限を廃止し、乗車ごとの小児料金（地下鉄等と同額）に変更。

○令和2年10月1日より敬老無料乗車券を廃止。

○令和2年6月1日より北神急行線の市営地下鉄化に伴い、新神戸～谷上間も敬老優待乗車制度の対象区間に変更。

70才以上の方が優待料金（小児料金）で利用できる制度は維持されます。



◆ 変更にいたった経緯 ◆

敬老優待乗車制度・福祉乗車制度は利用者・交通事業者・神戸市の三者が一体となって実施していく制度ですが、近年は市の予算額を超える利用が続き、交通事業者の負担が増えていました。今後、70才人口や障害者の増加に伴い、介護保険や障害福祉サービスにかかる経費が増加することから、今以上に神戸市の予算を増やすことは難しく現状のままでは制度を維持することが困難になることから、両制度の見直しをせざるを得ませんでした。

先輩が語る 神戸市合併前後の八多町の思い出(仮)

もし当時に「ふれまち八多」があったら

令和 3 年は八多町が神戸市に合併して 70 年の節目の年に当たります。当時の記録によると神戸市への合併は八多村議会では圧倒的多数の賛成 (92%) で可決されています。先輩たちは神戸市への合併にどんな夢を描いていたのでしょうか? 当時の八多村はどんな時代だったのでしょうか?

記録としては昭和 8 年発行の「八多村誌」、平成 20 年発行の「八多町誌」が残されていますが、今では八多村の思い出を話せる人も少なくなってきました。

もし、当時に「ふれまち八多」があったらどんな記事が掲載されたでしょうか? この機会になつかしい神戸市合併前後の八多村の出来事を振り返り、暮らしや行事の様子を各地区の先輩方にインタビューし小冊子にまとめます。古い写真があれば八多出張所にご連絡ください。また、ご意見は実行委員までお寄せください。

なお、実行委員は八多町自治協議会と八多ふれあいのまちづくり協議会の正副会長・会計の 3 役と矢野所長で構成されています。

○実行委員 (8 名) (敬称略)

岡田 孝久 (八多町自治協議会会長・八多ふれあいのまちづくり協議会委員長)
 畑中 昭洋 (八多町自治協議会副会長・八多ふれあいのまちづくり協議会副委員長)
 森 丈実 (八多町自治協議会副会長・八多ふれあいのまちづくり協議会副委員長)
 吉安 収 (八多町自治協議会会計)
 山口 明美 (八多ふれあいのまちづくり協議会副委員長・八多婦人会長)
 西下 三鈴 (八多ふれあいのまちづくり協議会副委員長・八多民生児童委員協議会会長)
 今北 延員 (八多ふれあいのまちづくり協議会会計)
 矢野 正人 (八多出張所長)



平成 30 年 11 月に始まった上小名田交差点の改良工事が 1 期（大沢 → 西宮線）・2 期（三木 → 三田線）とも 9 月末には終了します。工事への長年のご協力ありがとうございました。信号機の移設も終わり交差点のすれが解消され、右折レーンの新設、歩道の設置などですっかりきれいになりました。

八多町民 10 年来の要望が実現したわけで北建設事務所をはじめ関係者のみなさんにお礼申上げます。

9月で終了

ありがとう 「はたっこバス」 屏風辻停留所 10月から閉鎖されます

10月 1 日から「はたっこバス」の淡河延伸に伴い長年親しまれた「屏風辻停留所」が閉鎖になります。従前からある路線バス三木・三田線の「屏風辻停留所」をご利用ください。

10月からも「はたっこバス」屏風辻発が 1 便だけ残りますが、お間違えのないようにお願いします。



「八多淡河バス」広告募集中!

10月からスタートする「八多淡河バス」で八多町・淡河町が協力して広告を募集します。神戸市の公共交通課で神姫バスと交渉してもらい、従来からのバス社内広告に加えて、バス社外広告も含め多くの場所を確保していただきました。収入はバス運行経費補助に充当しますので、多くの企業団体の協力をお願いします。

詳細は八多出張所までお問い合わせください。

電話 (078) 982-0002

八多町バス本格運行後の利用者数 (目標1,200人/月)

	平成31年度 / 令和元年度												令和2年度					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	830	902	809	851	631	772	1,026	871	838	720	739	697	549	431	648	606	532	
運行日数	20	19	20	22	18	19	21	20	20	19	18	21	21	18	22	21	18	
月別平均利用者数	41.5	47.5	40.5	38.7	35.1	40.6	48.9	43.6	41.9	37.9	41.1	33.2	26.1	23.9	29.5	28.9	29.6	
平均	計 9,686 人 (807.2 人/月) (40.9 人/日)												計 2,766 人 (553.2 人/月) (27.7 人/日)					

出張所長の虫だより

第4回

「ご神木」

八多町は、山地と平地（田畠）がバランスよく配置され、里山地帯として樹液昆虫（カブト、クワガタ、カナブン、キマダラヒカゲ、ルリタテハ等）にとっては、理想的な環境でした。おそらく昭和40年代までは、クヌギの木を蹴ればノコギリクワガタやミヤマクワガタがバラバラと落ちてきて簡単に採集できたのではないでしょうか？

今は厳しいですねえ。私はこの夏の八多では、ミヤマクワガタ1　コクワガタ2　ノコギリクワガタ（死骸）1　カブトムシ2（うち死骸1）の目撃しかできませんでした。

減少の原因は様々ですが、近頃は甲虫たちの食材＝樹液の減少が顕著だと感じます。樹液が出る原因是3つあり、①樹木が物理的に擦れたり、薦に絡められたりして傷ついて出るケース、②ボクトウガ（大型の蛾の一種）の幼虫、シロスジカミキリやオオスズメバチに樹皮をかじられて出るケース、③人間が薪炭を探るために樹木の枝を伐採し続けるために切り口から出るケースです。



8月 深谷のコナラ

樹液が減った原因は、まず③から始まりました。木を切らなくなるとクヌギ・コナラは大木化します。すると樹皮が分厚くなるため、①のケー

スも減少し、②も困難になります。樹液酒場は昆虫たちの食堂であるとともに、男女の出会いの場でもあるのでそんな場所が減れば、クワガタたちも激減していくのは当然です。

樹液の匂い、特に発酵してアルコール分の混じった匂いには昆虫たちは敏感で夜になると居酒屋のように大集結します。昔の昆虫少年たちはそんな特定の樹を「ご神木」と称し、こんな木を何本知っているかが、採集成果に直結したものです。「ご神木」の探し方？それは、前述の蝶たちに聞くのが一番です。昼の間に案内してくれます。八多の「ご神木」はどこでしょう？附物、屏風、深谷、西畑あたりにはまだまだありますよ。見つけたらこっそりご一報を！

写真・ご意見等は masato_yano@office.city.kobe.lg.jp へ
八多出張所長 矢野 正人

9月に入つて早々に大型台風が連続して日本列島にやってきました。八多町には大きな被害はありませんでしたが、今年の夏は猛暑だったので海水温も高く、台風が発達成長しながら日本に近づくので今後も被害が心配されます。少しでも災害を少なくするためににはだつたので海水温も高く、台風が発達成長しながら日本に近づくので今後も被害が心配されます。少しだけでも災害を少なくするためにには日ごろからしっかりと準備をします。これが大切です。また、コロナ禍のな

編集後記



「はなみずき会」
会員に赤飯等をお届け
＝ 民生委員家庭訪問第2弾 ＝

「はなみずき会」では9月を毎年敬老月としてお祝いし、記念撮影をした写真を参加者にお渡ししてきました。今年度は新型コロナの感染拡大で4月から一度も会が開催できず、半年たつた今も再開のめどが立っていません。そんな中、民生委員の活動として8月は各家庭を訪問、お話を伺うとともに、お菓子をお渡しました。反響は大変大きく「久しぶりに話ができるうれしかった、お菓子もおいしくいただきました」と多くの方から感謝の言葉が届きました。

9月2日(水)には民生委員の家庭訪問第2弾として、赤飯と紅白饅頭、八多児童館の子供たちが作った光るストラップのプレゼントにメッセージを添えて会員にお届けしました。

もう少しの間、ご家庭で元気にお過ごしください。再会できる日を楽しみにしています。

八多淡河バスはホタルが目印

10月から試験運行する「八多淡河バス」は行き先表示板のホタル（写真参照）が目印です。「はたっこバス」と違って小型バスだけでなく中型・大型バスも走行します。全戸配布する時刻表には明示しますが、路線バスと区別するためのホタルを目印に乗車協力よろしくお願いします。



「はたっこバス」
スタンプカード廃止

廃品回収

(年3回)



第2回 11月15日(日)
第3回 2月7日(日)

令和3年4月30日までです。

運行開始から乗車促進策の一つとして利用者に親しまれてきた「はたっこバス」スタンプカードが9月末日で廃止となります。10月からの淡河町までの延伸によって「はたっこバス」は「八多淡河バス」として運行され、新たなステージに移るためです。長年のご利用ありがとうございました。

なお、景品交換は八多出張所で